

「一般貸切旅客自動車運送事業」法令等試験問題

申請者名 _____

記入者名 _____

席 番 号	
-------------	--

(注意事項)

1. 本問題中「事業者」とあるのは、「一般貸切旅客自動車運送事業者」を指します。
2. 設問の文中には、条文の一部を省略しているものもあります。

I. 次の1から15までの文章で、正しいものには○印を、誤っているものには×印を（ ）内に記入しなさい

1. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の保管場所ごとに、自動車の点検及び清掃のための施設を設けなければならない。(運輸規則第47条)
(×)
2. 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車踏切警手の配置されていない踏切を通過することとなる場合は、当該自動車に赤色旗、赤色合図灯等の非常信号用具を備えなければ、旅客の運送の用に供してはならない。(運輸規則第43条)
(○)
3. 自動車は、乗車定員又は最大積載量について、国土交通省令で定める保安上又は公害防止その他の環境保全上の技術基準に適合するものでなければ、運行の用に供してはならない。(道路運送車両法第42条)
(○)
4. 一年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなつた日から七年を経過していない者は一般旅客自動車運送事業の許可を受けることができない。(道路運送法第7条)
(×)
5. 一般旅客自動車運送事業者は、事業の貸渡しその他いかなる方法をもつてするかを問わず、一般旅客自動車運送事業又は特定旅客自動車運送事業を他人にその名において経営させてはならない。(道路運送法第33条)
(○)

6. 整備管理者は、乗務員が事業用自動車の運行の安全の確保のために遵守すべき事項及び乗務員の服務についての規律を定めなければならない。(運輸規則第41条)
- (×)
7. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車につき、点検整備、整備管理者の選任および検査に関する道路運送車両法の規定に従うほか、事業用自動車の構造及び装置並びに運行する道路の状況、走行距離等の使用の条件を考慮して、定期に行う点検の基準を作成し、これに基づいて点検し、必要な整備をしなければならない。(運輸規則第45条)
- (○)
8. 一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款では、ガイド料、有料道路利用料、航送料、駐車料、乗務員の宿泊費等当該運送に関連する費用は、運賃として扱わなければならない。(標準運送約款第14条)
- (×)
9. 一般旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行の安全の確保に関する業務を行わせるため、国土交通省令で定める営業所ごとに、運行管理者資格者証の交付を受けている者のうちから、運行管理者を選任しなければならない。(道路運送法第23条)
- (○)
10. 一般旅客自動車運送事業者は、天災その他やむを得ない事由がある場合のほか、事業計画(路線定期運行を行う一般乗合旅客自動車運送事業者にあつては、事業計画及び運行計画。)に定めるところに従い、その業務を行わなければならない。(道路運送法第16条)
- (○)
11. 旅客自動車運送事業者は、毎年12月31日までに、輸送の安全に関する基本的な方針その他の輸送の安全にかかわる情報であつて国土交通大臣が告示で定める事項について、インターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。この場合において、旅客自動車運送事業者は、国土交通大臣が告示で定めるところにより、遅滞なく、その内容を国土交通大臣に報告しなければならない。(運輸規則第47条の7)
- (×)
12. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行により生じた旅客その他の者の生命、身体又は財産の損害を賠償するための措置であつて、国土交通大臣が告示で定める基準に適合するものを講じておかななければならない。(運輸規則第19条の2)
- (○)

1 3. 一般旅客自動車運送事業者は、事業計画（路線定期運行を行う一般乗合旅客自動車運送事業者にあつては、事業計画及び運行計画）の遂行に必要となる員数の運転者の確保、事業用自動車の運転者がその休憩又は睡眠のために利用することができる施設の整備、事業用自動車の運転者の適切な勤務時間及び乗務時間の設定その他の運行の管理その他事業用自動車の運転者の過労運転を防止するために必要な措置を講じなければならない。（道路運送法第27条）

（ ○ ）

1 4. 旅客自動車運送事業者の従業員は、その職務に従事する場合は、輸送の安全及び旅客の利便を確保することに努めなければならない。（運輸規則第2条）

（ ○ ）

1 5. 旅客自動車運送事業者は、酒気を帯びた状態にある乗務員を事業用自動車に乗務させてはならない。（運輸規則第21条）

（ ○ ）

II. 事業者は、法令により定められた報告書を、決められた時期に提出しなければなりません。では、事業者が提出する下記の報告書に関して、報告期間と提出時期として正しいものを下欄から選び、() 内に記号を記入しなさい。(旅客自動車運送事業等報告規則第2条)

- ① 事業報告書 : 報告期間 (ア) に係るもの
: 提出時期 (エ)
- ② 輸送実績報告書 : 報告期間 (ウ) に係るもの
: 提出時期 (オ)

ア. 毎事業年度	イ. 毎年1月1日から12月31日迄の期間
ウ. 前年4月1日から3月31日迄の期間	エ. 毎事業年度の経過後100日以内
オ. 毎年5月31日まで	カ. 毎事業年度の経過後150日以内

III. 「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」に定める一般乗用旅客自動車運送事業以外の旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の拘束時間等に関する次の文中、() 内に入る字句として正しいものを下欄から選び、() 内に記号を記入しなさい。

(自動車運転者の労働時間等の改善のための基準)

- ① 拘束時間は、4週間を平均し1週間当たり (ア) を超えないものとする。
- ② ただし、貸切バスを運行する営業所において運転の業務に従事する者等については、労使協定があるときは、52週間のうち16週間までは、4週間を平均し1週間あたり (ク) まで延長することができる。
- ③ 一日についての拘束時間は、(カ) を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、最大拘束時間は、(ウ) とすること。
- ④ 勤務終了後、継続 (コ) 以上の休息期間を与えること。
- ⑤ 連続運転時間は、(エ) を超えないものとする。

ア. 65時間	イ. 20時間	ウ. 16時間	エ. 4時間	オ. 40時間
カ. 13時間	キ. 24時間	ク. 71.5時間	ケ. 12時間	コ. 8時間

IV. 事業者が運送約款に定めなければならない事項として正しい事項には○印を、そうでない事項には×印を（ ）内に記入しなさい。(道路運送法施行規則第12条)

- ① 運賃及び料金の收受又は払戻しに関する事項 (○)
- ② 運送の引受けに関する事項 (○)
- ③ 荷物の重量等の制限に関する事項 (×)
- ④ 免責に関する事項 (○)
- ⑤ 添乗員の業務に関する事項 (×)

V. 事業者が、その事業計画等を変更しようとするときに、認可を受けなければならない場合があります。では、下記の中で認可を必要とする事項を選び、該当する事項には○印を、そうでない事項には×印を記入しなさい。

(道路運送法第15条、道路運送法施行規則第15条及び第15条の2)

- ① 営業区域の廃止 (○)
- ② 営業所の名称の変更 (×)
- ③ 許可期限の更新 (×)
- ④ 営業所ごとに配置する事業用自動車の数の変更 (×)
- ⑤ 運転者の選任及び解任 (×)

VI. 次の文中の（ ）の部分にあてはまる語句を記入しなさい。

1. 一般旅客自動車運送事業者(路線定期運行を行う一般乗合旅客自動車運送事業者を除く。)は、その事業を休止し、又は廃止しようとするときは、その()前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。(道路運送法第38条)

答. 30日

2. 一般貸切旅客自動車運送事業の運賃及び料金の設定又は変更の届け出において、記載が必要な事項は以下のとおりである。(道路運送法施行規則第10条の2)

- ① 氏名又は名称及び住所並びに法人にあつては、その代表者の氏名
- ② 設定又は変更しようとする運賃及び料金を適用する営業区域
- ③ 設定又は変更しようとする運賃及び料金の種類、額及び適用方法
- ④ ()

答. 実施予定日

3. 道路運送法における「旅客自動車運送事業」とは、他人の需要に応じ、有償で、自動車を使用して()を運送する事業である。(道路運送法第2条)

答. 旅客

4. 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、国土交通大臣が告示で定めるところにより、主として運行する路線又は営業区域の状態及びこれに対処することができる運転技術並びに法令に定める自動車の運転に関する事項について適切な（ ）をしなければならない。(運輸規則第38条)

答. 指導監督

5. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可は、五年ごとにその（ ）を受けなければ、その期間の経過によつて、その効力を失う。(道路運送法第8条)

答. 更新